

# 宮崎港

An aerial photograph of Miyazaki Port, Japan. The image shows a large harbor area with several piers and breakwaters extending into the sea. To the left, there is a dense urban area with many buildings. To the right, there are large industrial or port facilities with various structures and paved areas. The water is a deep blue color. The sky is clear and blue.

平成20年7月

宮崎県

県土整備部 港湾課

# 目 次

## I. 宮崎県内の港湾

## II. 宮崎港の整備

- ・整備の背景
- ・港湾の計画
- ・港の施設

## III. 港の役割

- ・港の利用状況
- ・港の効果

## IV. 宮崎港の浚渫



# I. 宮崎県内の港湾

# 宮崎県の港湾位置図



| 凡例        |       |       |
|-----------|-------|-------|
| コンテナ航路    | 重要港湾  | 重要港湾  |
| RO-RO航路   | 地方港湾  | 地方港湾  |
| フェリー航路    | S/S航路 | S/S航路 |
| 自動車運搬専用航路 | 空港    | 空港    |
|           | 国道    | 国道    |
|           | 県道    | 県道    |
|           | 市道    | 市道    |
|           | 町道    | 町道    |
|           | 村道    | 村道    |
|           | 支庁界   | 支庁界   |
|           | 市界    | 市界    |
|           | 町界    | 町界    |
|           | 村界    | 村界    |

重要港湾・・・3港

地方港湾・・・12港

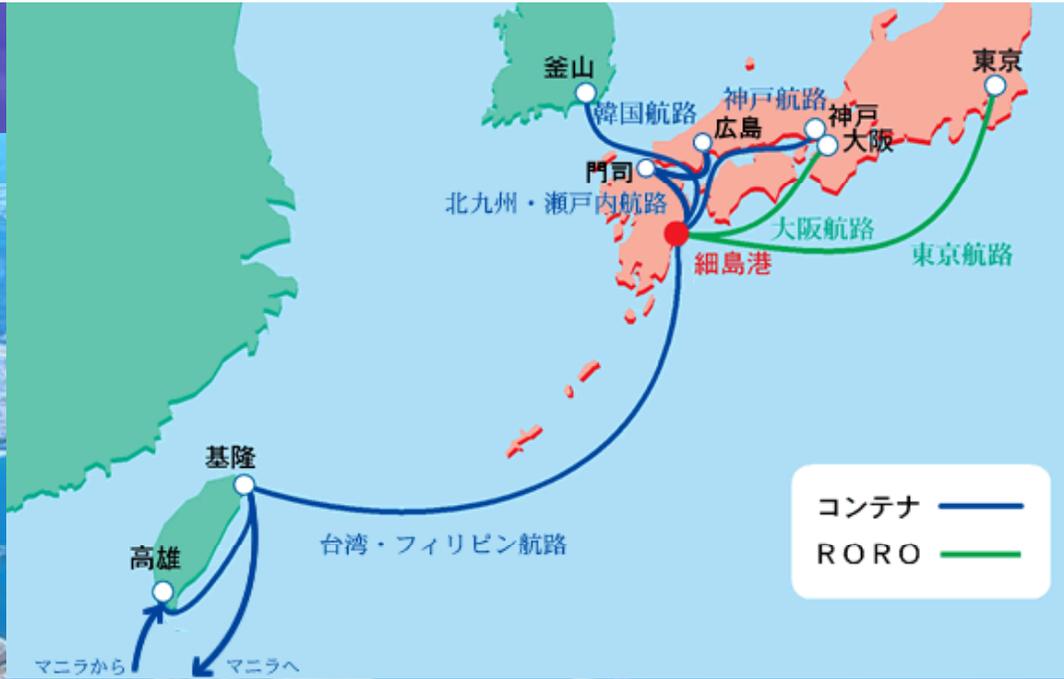
その他・・・・・・1港

# 重要港湾三港の役割

重要港湾は、国際・国内海上輸送網の拠点

- 細島港は、外国貿易の拠点
- 宮崎港は、南九州の物流拠点
- 油津港は、外国・国内物流の県南拠点

# 細島港



# 重要港湾三港の役割

重要港湾は、国際・国内海上輸送網の拠点

- 細島港は、外国貿易の拠点
- 宮崎港は、南九州の物流拠点
- 油津港は、外国・国内物流の県南拠点

# 宮崎港



# 重要港湾三港の役割

重要港湾は、国際・国内海上輸送網の拠点

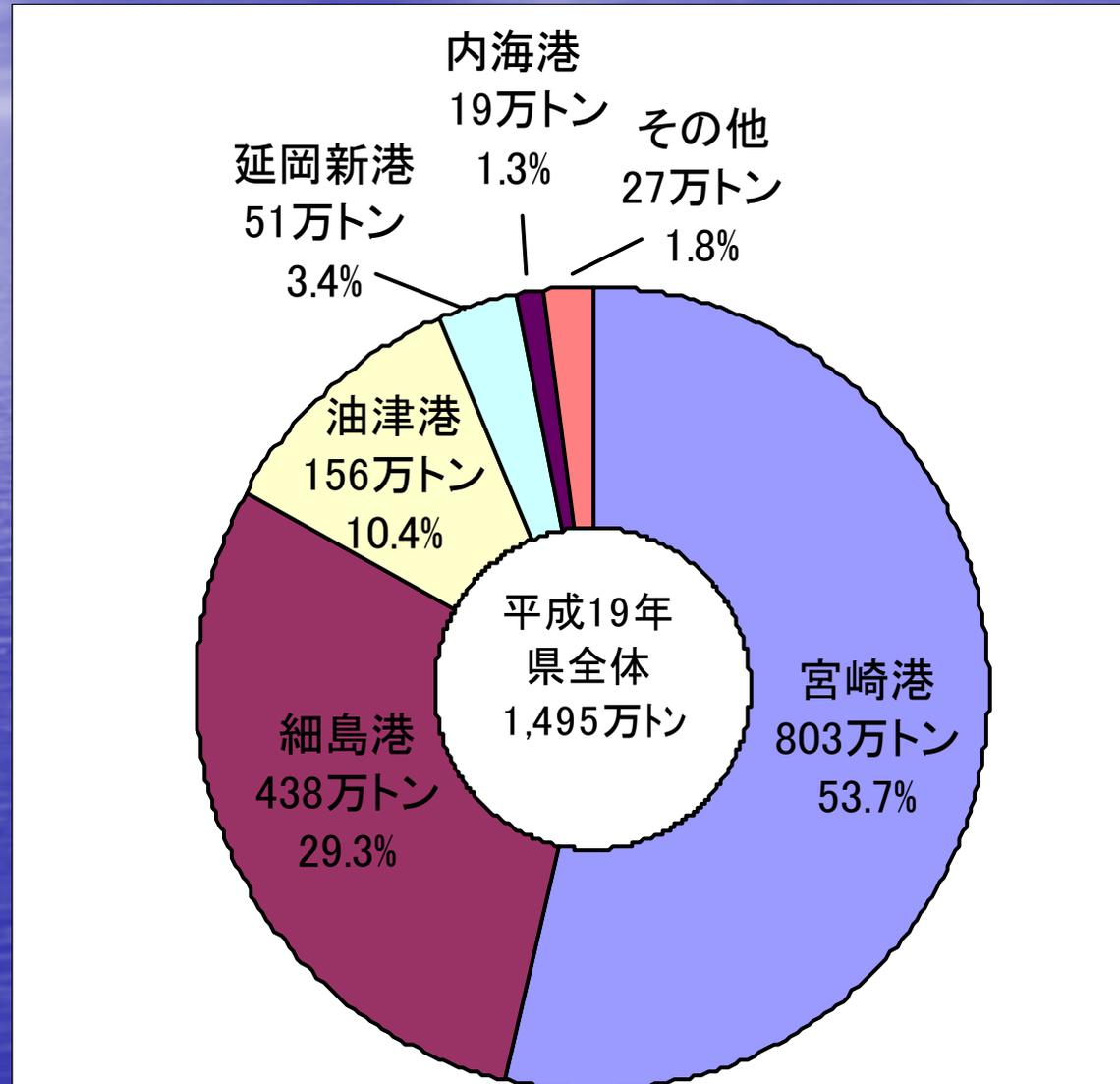
- 細島港は、外国貿易の拠点
- 宮崎港は、南九州の物流拠点
- 油津港は、外国・国内物流の県南拠点

# 油津港



# 平成19年の取扱貨物量

(速報値)



## Ⅱ. 宮崎港の整備

# 《宮崎港の沿革①》

赤江港と呼ばれ、鎌倉時代(約700年前)  
から船舶が往来



江戸時代後期(約200年前)から明治時代  
には阪神・鹿児島との交易が増大



大正時代に鉄道が開通し船便の一時衰退

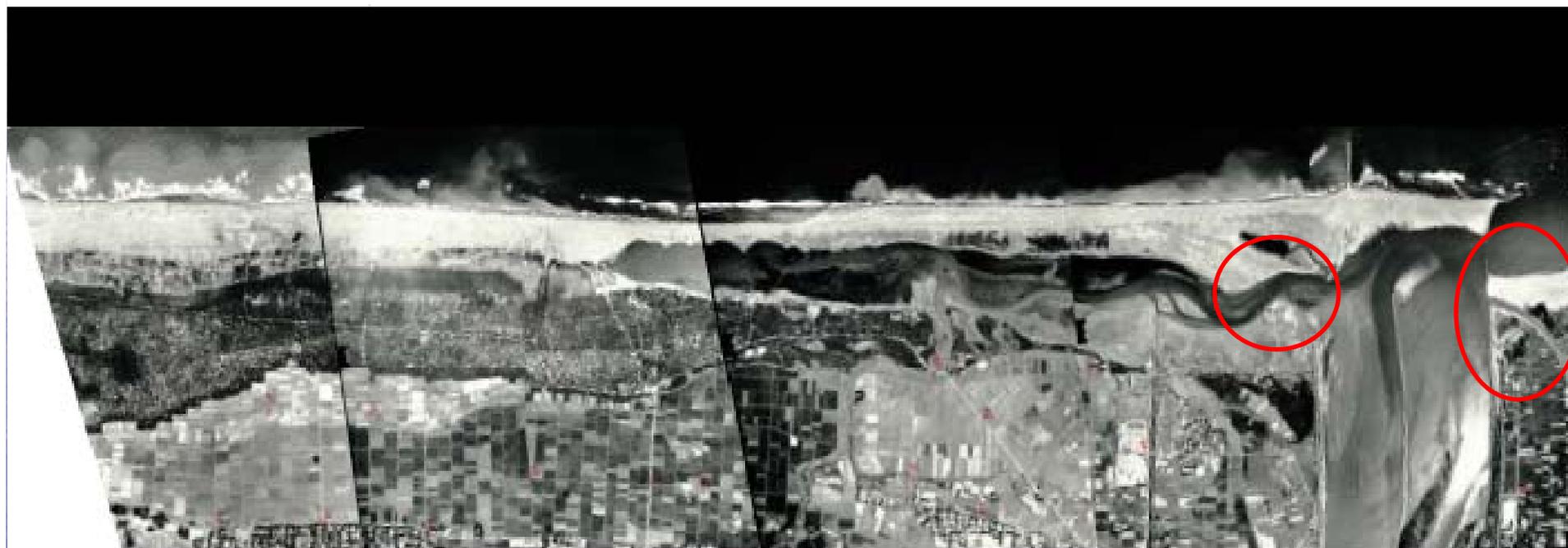


経済発展により輸送需要が増大したため  
昭和33年から港口・岸壁整備に着手

# 昭和37年当時の宮崎港付近

北

南



新別府川

大淀川



# 《宮崎港の沿革②》

経済発展に伴う港湾整備の要請

新たな港口整備

防波堤・係留施設整備

昭和48年に港湾計画策定（重要港湾指定）

本格的な港整備のスタート

平成18年



昭和37年



# 宮崎港の港湾計画（平成15年改訂）

港湾計画は、

- ・平成20年代後半の需要予測で作成
- ・実際の整備は、需要実態などを考慮

主な計画

防波堤、防砂堤、岸壁、航路

（物流の国際化に対応出来る、外貿機能の整備）



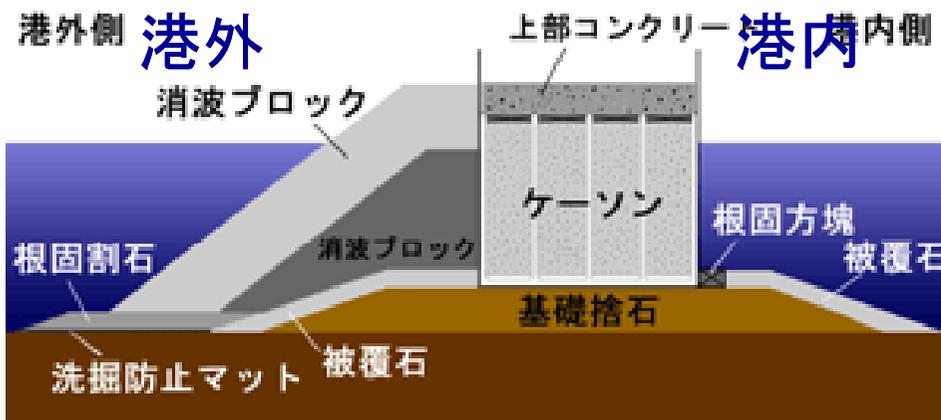
# 港湾施設の紹介



# 港湾施設の紹介

## 《防波堤》

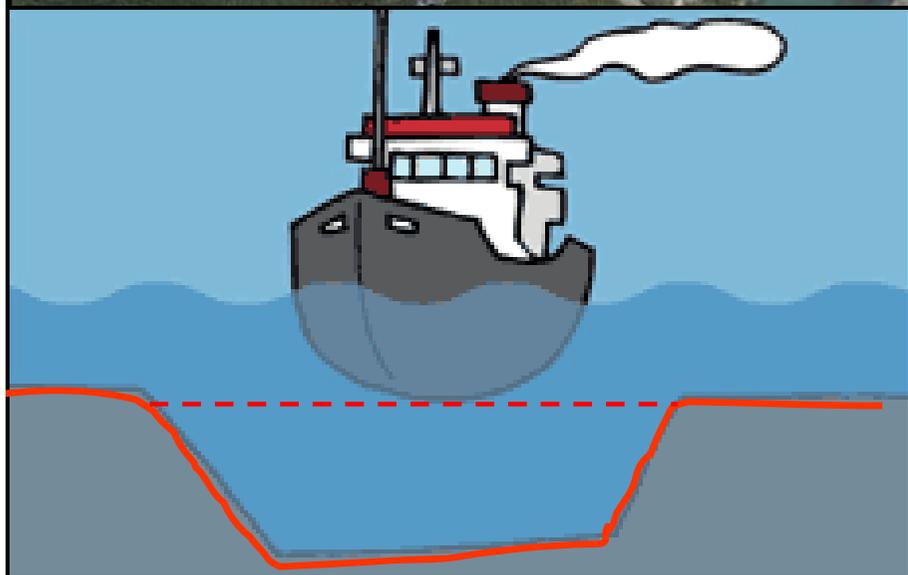
波を抑えて  
穏やかな港



# 港湾施設の紹介

## 《航路》

水深を確保して  
安全な船の道



# 港湾施設の紹介 《岸壁》

安全で効率的な  
荷物の積み卸し



# Ⅲ. 宮崎港の役割

# 港の利用

- 物流拠点としての利用
- レクリエーションでの利用
- 漁業（水産物）基地としての利用

# 現在の宮崎港

レクリエーションゾーン

物流ゾーン

漁港ゾーン



# 物流ゾーンの利用



物流ゾーン

# 宮崎港の土地利用



石油基地

鉄・ガラス  
リサイクル

砂・砂利

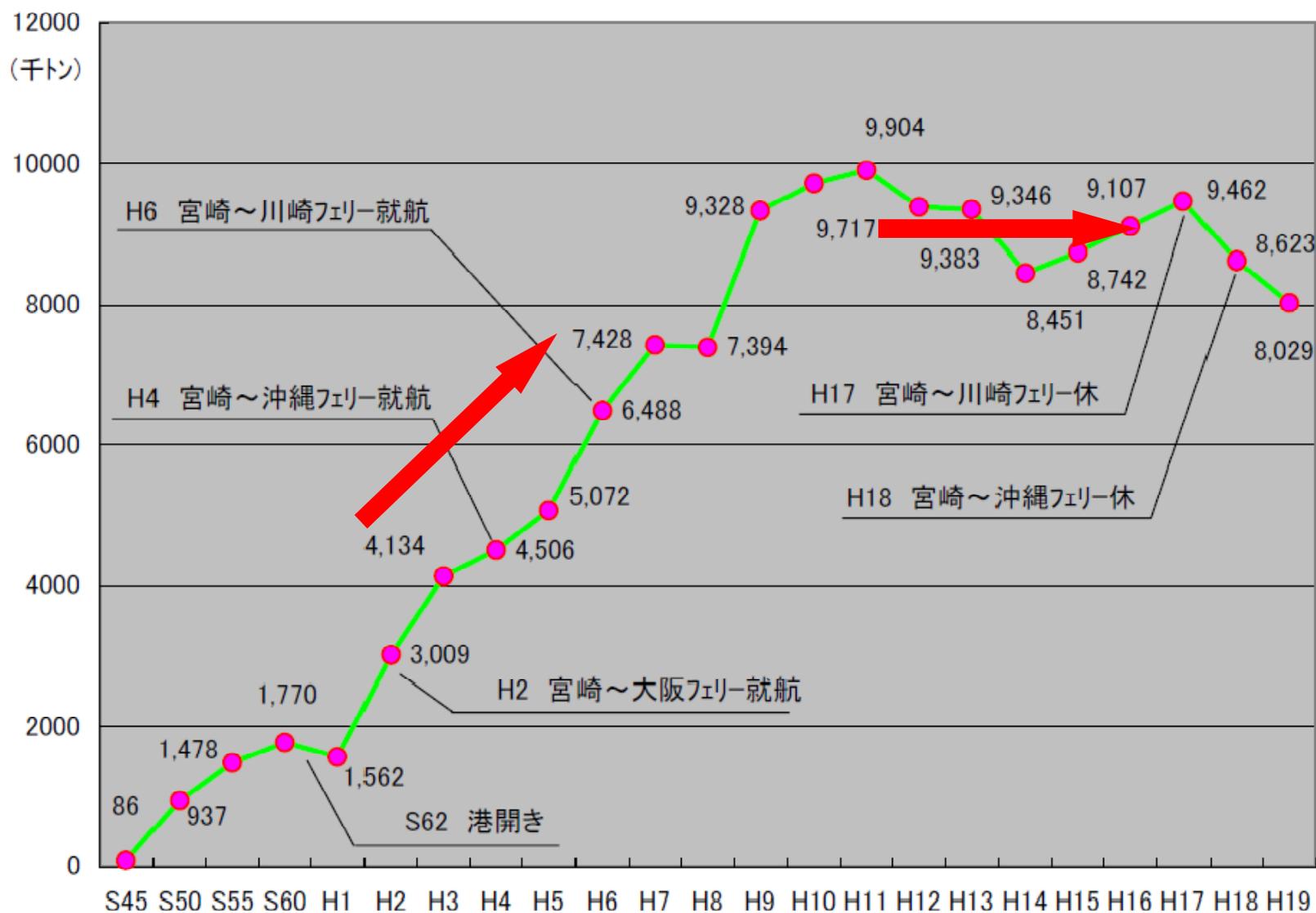
倉庫(分譲地)

フェリー

セメント基地

石油基地

# 宮崎港の取扱貨物量の推移



# 宮崎港の取扱貨物量(平成19年)

## 特徴

○宮崎港は県全体の半数(803万トン)。



## 宮崎港の取扱貨物の種類(平成19年)

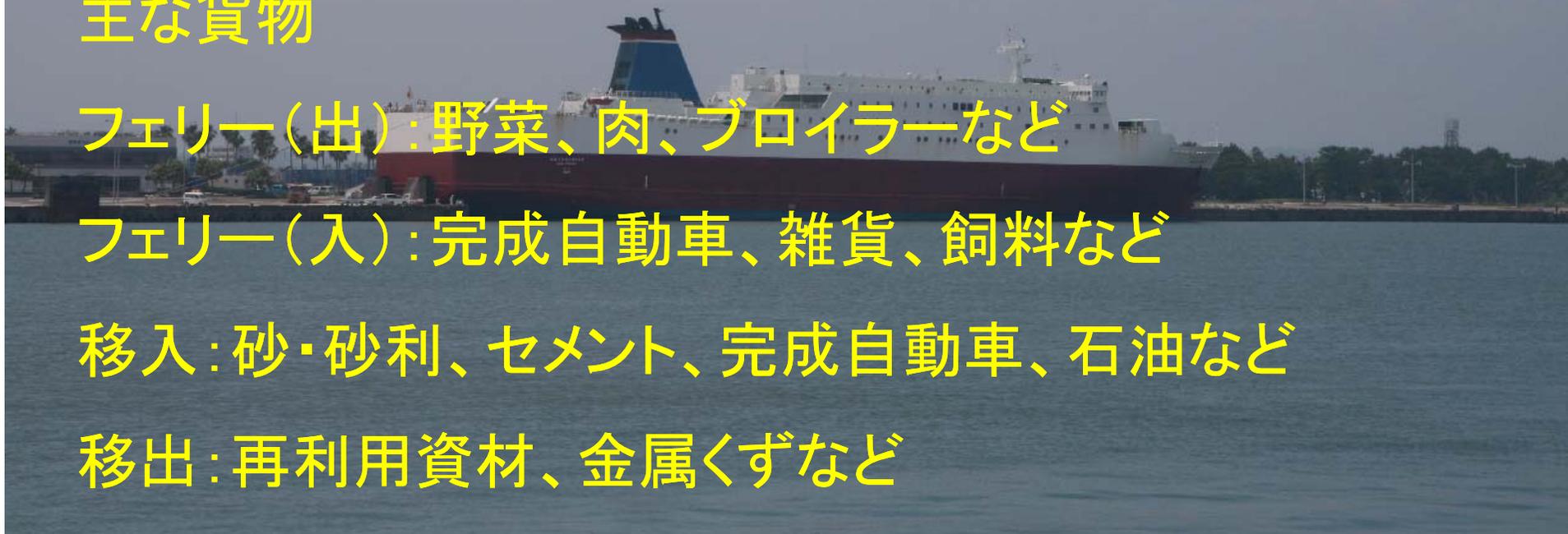
### 主な貨物

フェリー(出):野菜、肉、ブロイラーなど

フェリー(入):完成自動車、雑貨、飼料など

移入:砂・砂利、セメント、完成自動車、石油など

移出:再利用資材、金属くずなど

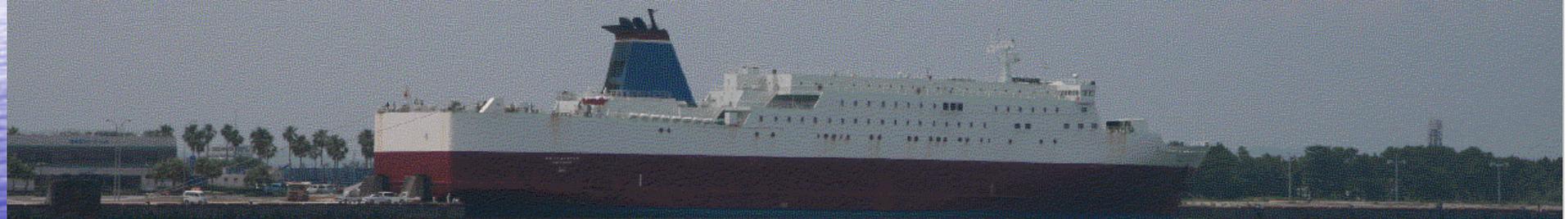


# フェリー航路

■宮崎港⇔大阪南港（日1便）

みやざきカーフェリー

11,900t



平成19年のフェリー利用実績（宮崎港）

乗客数 : 19万8000人

車両台数 : 14万6000台

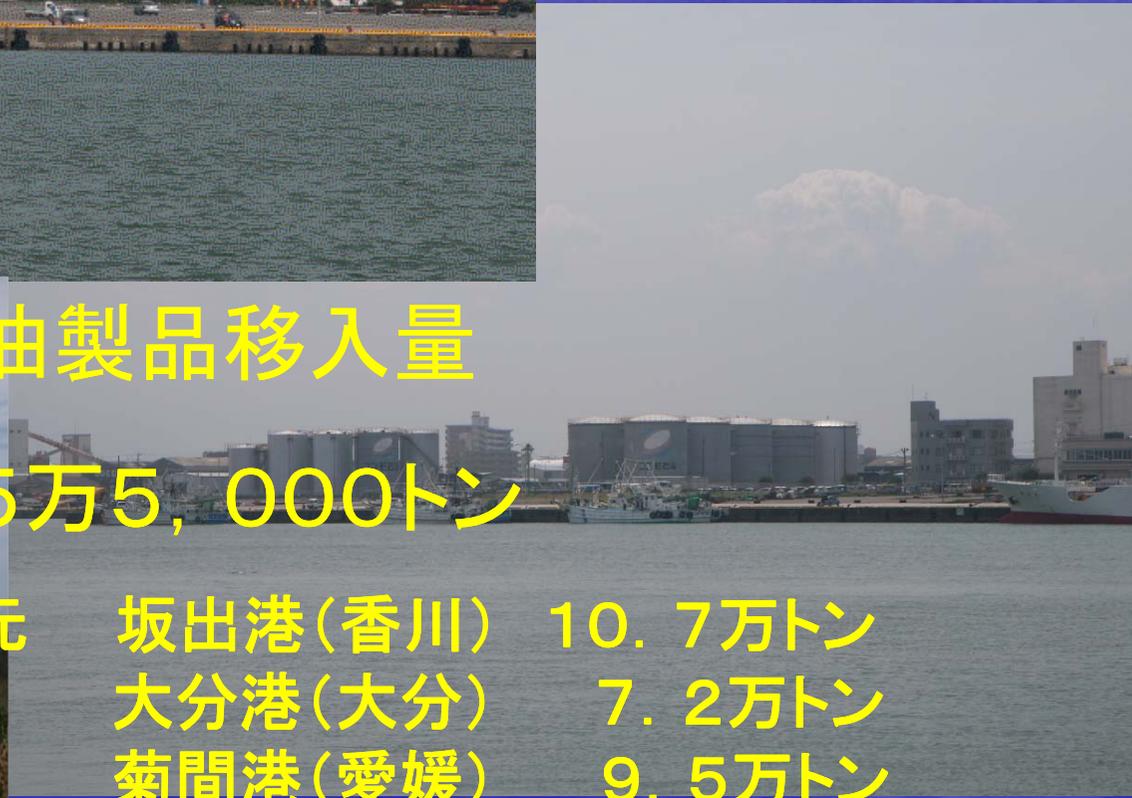
# 石油基地



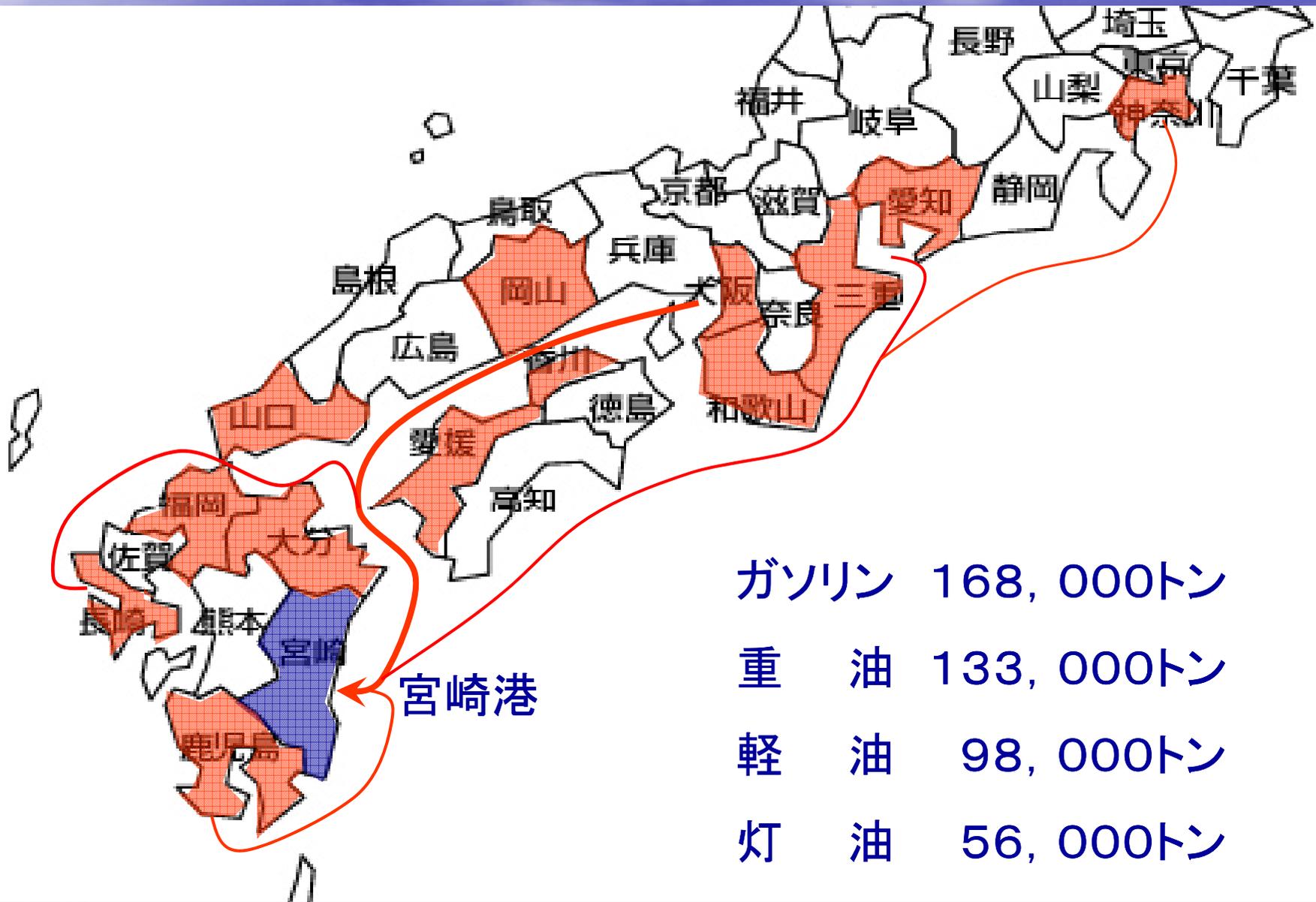
平成19年 石油製品移入量

45万5,000トン

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 移入元 | 坂出港(香川) | 10.7万トン |
|     | 大分港(大分) | 7.2万トン  |
|     | 菊間港(愛媛) | 9.5万トン  |



# 石油製品の海上輸送



# ガソリンの輸送



県内販売量の 約4割

224,000<sup>キ</sup>リットル

(H19速報値)

# 完成自動車



平成19年 完成自動車移入台数

62,000台

移入元 名古屋港 13,200台

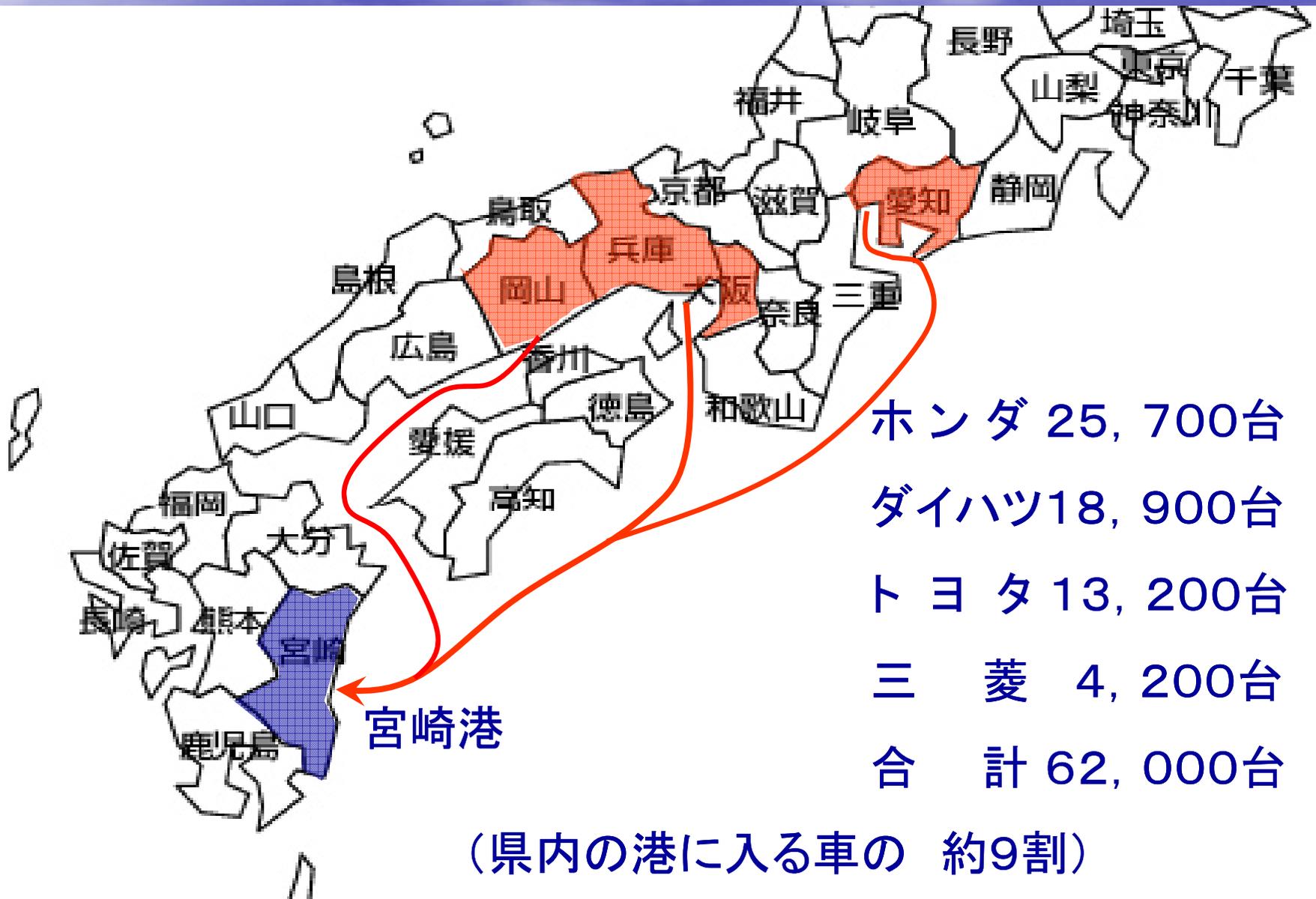
大阪南港 25,700台

尼崎港(兵庫) 18,900台

水島港(岡山) 4,200台



# 自動車の海上輸送



# 砂・砂利ヤード

平成19年 砂・砂利移入量

84万7000トン

移入元 津久見港 38万トン

博多港 17万トン

細島港 9万トン



砂・砂利運搬船

(県内使用量の 約2割)

# セメント基地

平成19年 セメント移入量  
26万9,000トン



|     |           |         |
|-----|-----------|---------|
| 移入元 | 津久見港      | 15.6万トン |
|     | 徳山下松港(山口) | 8.3万トン  |
|     | 内諸港(福岡)   | 4.9万トン  |



セメント運搬船

(県内港取扱量の 約5割)

# レクリエーションゾーンの利用

レクリエーションゾーン



# みやざき臨海公園

北ビーチ

南ビーチ

マリーナ

利用者数 約19万人(平成19年度)



# 利用状況

海水浴



バスケット  
ビーチバレー



マリンスポーツ



マリンスポーツ



# 漁港ゾーンの利用



漁港ゾーン

# 漁協の状況(宮崎、檉浜)

- 漁船数 : 88隻
- 漁業従事者 : 181人
- 漁獲量 : 1,400トン  
(主な物:しらす 744トン、まぐろ類 438トン)

# 港の効果

- 経済効果  
(企業誘致、雇用創出、税収増)
- 環境保全効果  
(二酸化炭素削減、省エネ)
- 防災拠点の機能  
(安心・安全)

## 港内の企業

- 立地企業の数 : 約50社
- 雇 用 人 数 : 約850人

(平成17年データ)

## 港の利用企業

- 宮崎港を利用して輸送を行っている企業や農業生産者などの生産活動支えている。

(陸上輸送距離増加のコストアップ→競争力低下)

# 環境保全効果

気温上昇により

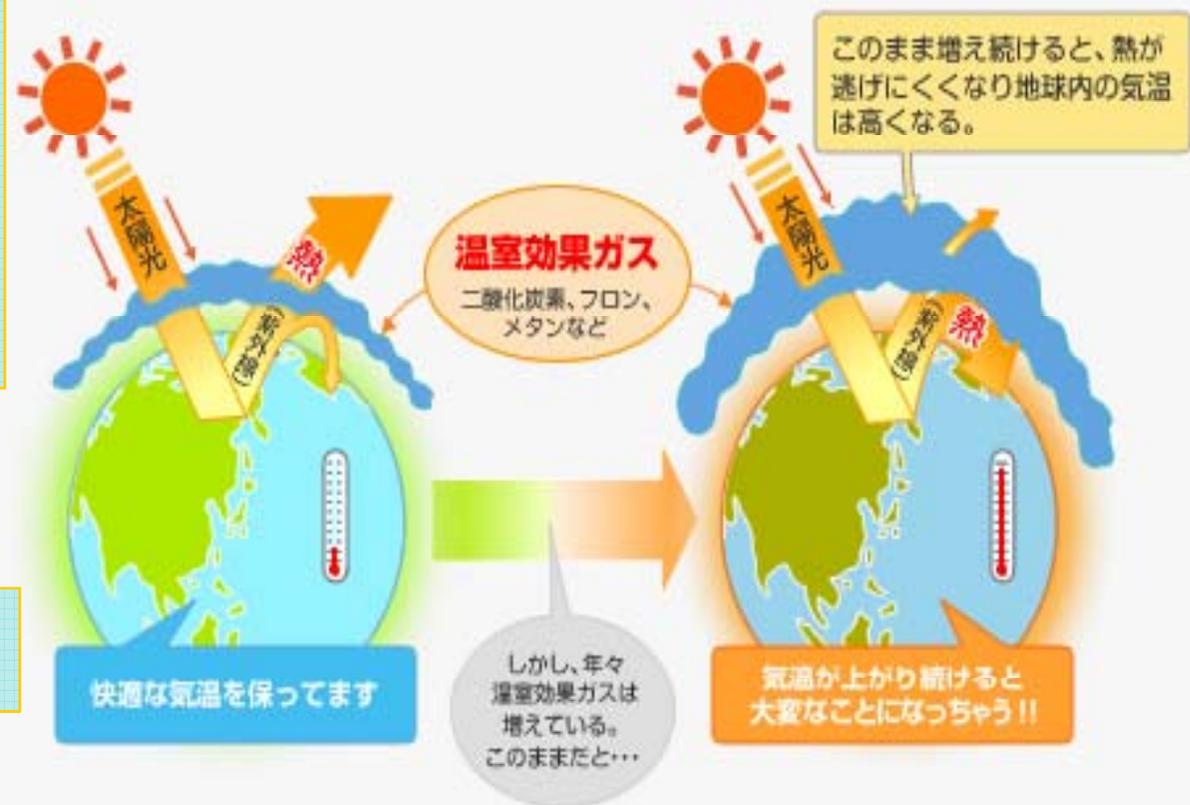
- ・生態系への影響
- ・農作物への影響
- ・海面上昇への影響



地球温暖化対策



温室効果ガスの削減



# 環境にやさしい輸送



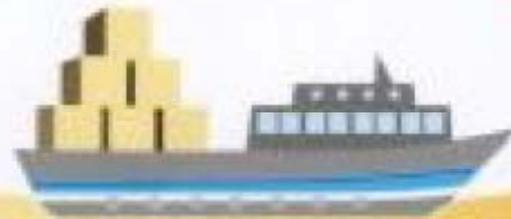
地球温暖化対策

(平成9年の京都議定書)

二酸化炭素の6%削減



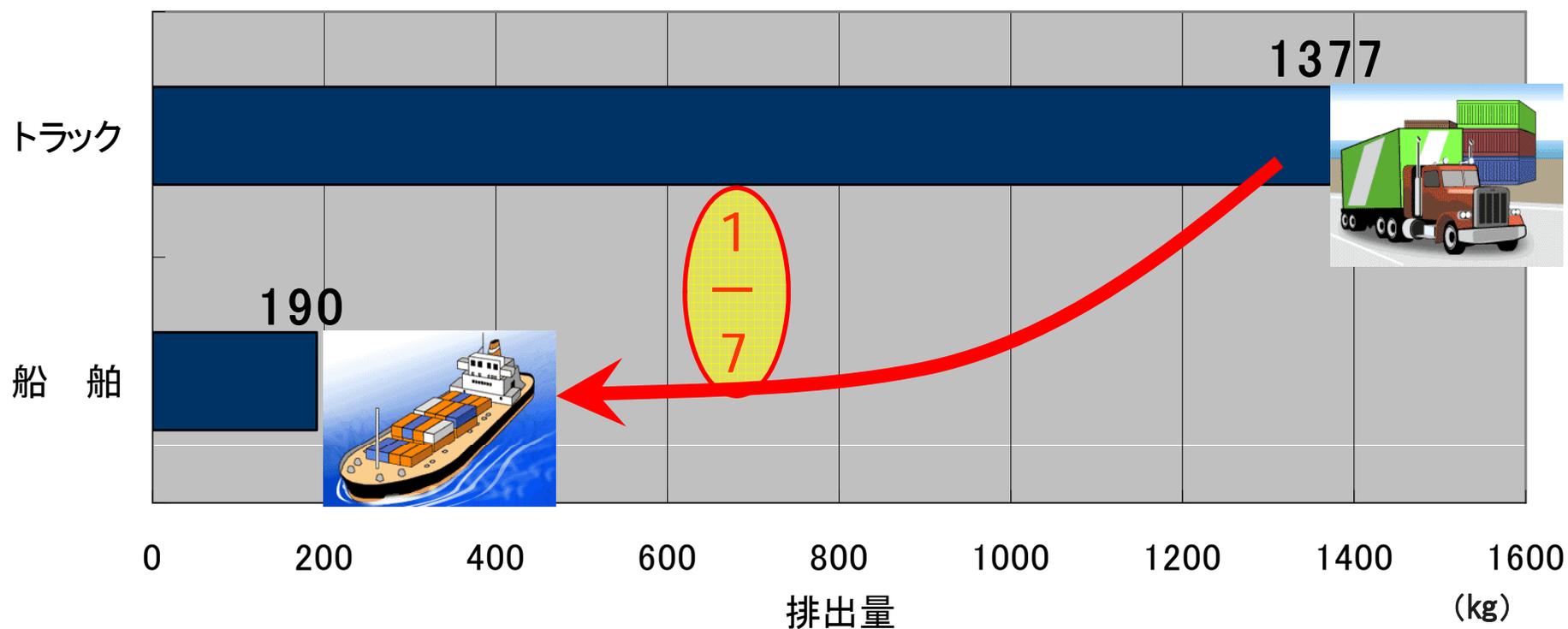
モーダルシフト





# モーダルシフトの効果

## 二酸化炭素排出量 (宮崎→大阪 貨物10トン)



# 効果

## 大量海上輸送により

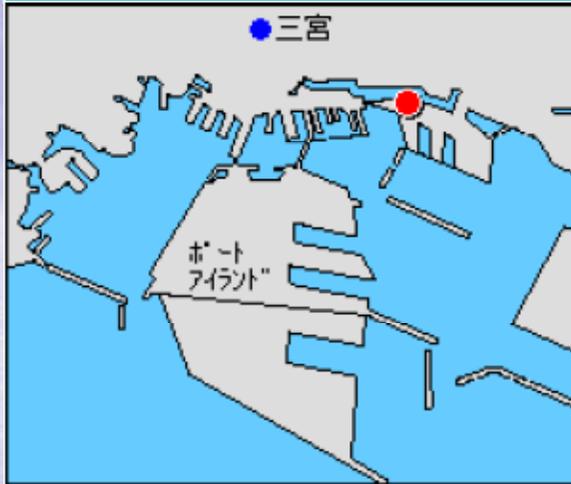
- ・二酸化炭素の排出抑制で地球環境改善
- ・エネルギー消費の縮減で省エネ
- ・道路混雑の解消と事故軽減

# 安心・安全な防災拠点

港は大規模地震などの災害時に  
緊急物資や人の輸送などの  
防災拠点



# 阪神・淡路大震災による神戸港の被災例



通常岸壁は被害大



耐震強化岸壁は被害小



通常岸壁は被害大

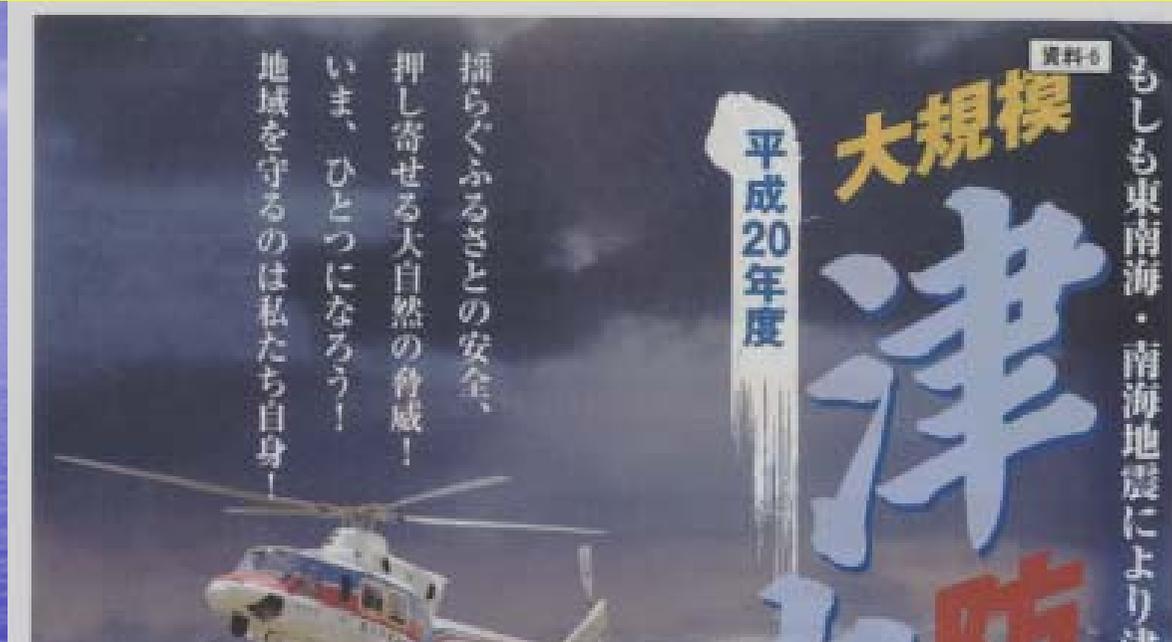


# 地震に強い施設整備



耐震強化岸壁

# 大規模津波総合防災訓練の実施



平成20年10月19日(日曜日)

東南海・南海地震を想定した訓練が

宮崎港で実施

平成16年12月25日に発生した「スマトラ島沖地震(インド洋巨津波)」による津波被害をきっかけに、地震津波による被害の軽減をめざし、日頃から津波に備える時や、周知の要請を受け、平成19年10月19日に、大規模津波防災総合訓練を行います。